

# 第6章 計画の総合的な推進方策

## 1 計画の推進体制

環境基本計画に記載している各種施策を円滑に展開していくためには、実効性のある具体的な組織づくりが必要不可欠です。本市では下図のような組織体制により、市民、事業者及び行政が協力しあい、本市の良好な環境づくりを進めていくこととします。

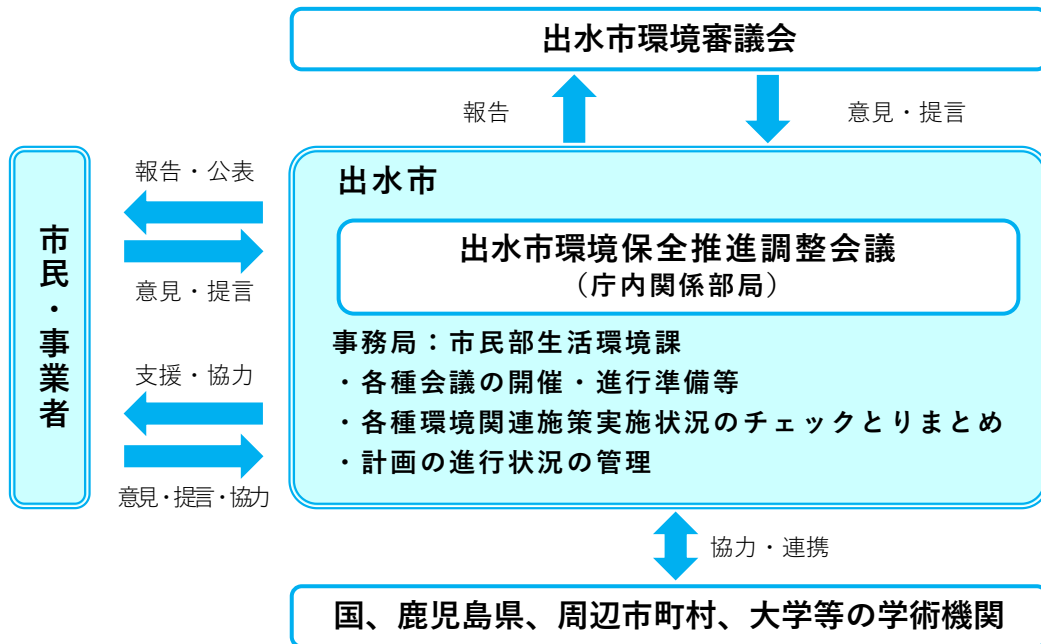


図 6-1 本計画の推進組織体制

### (1) 出水市環境審議会

環境審議会は、本計画に基づく各種環境施策の実行・推進とともに、その他環境保全に関する諸問題について専門的な立場から審議を実施し、広い見識を持って提言や助言を行います。

委員は、事業者、市民及び環境の保全に関する学識経験者等の中から市長の委嘱により任命されます。

### (2) 出水市環境保全推進調整会議

本計画の庁内の推進組織として、副市長を会長に庁内関係部局で構成する組織です。本計画に記載した各種環境施策の調整・検討及び推進を行います。また、目標の達成状況や実際の実行状況等についてチェックや取りまとめを行い、環境審議会に報告するとともに、広く市民や事業者公表します。

## 2 計画の進行管理

本計画の実効性を確保するためには、本市各部署の各種環境施策実施状況について、PDCA※の観点から定期的な把握と評価を行う進行管理が必要です。本市においては、出水市環境保全推進調整会議で、各部署の環境施策に関する活動報告を行います。

また、5年ごとに市民や事業所へのアンケート等による各数値目標の達成状況の検証を実施し、環境施策実施状況の評価を行います（各数値目標は次ページ参照）。

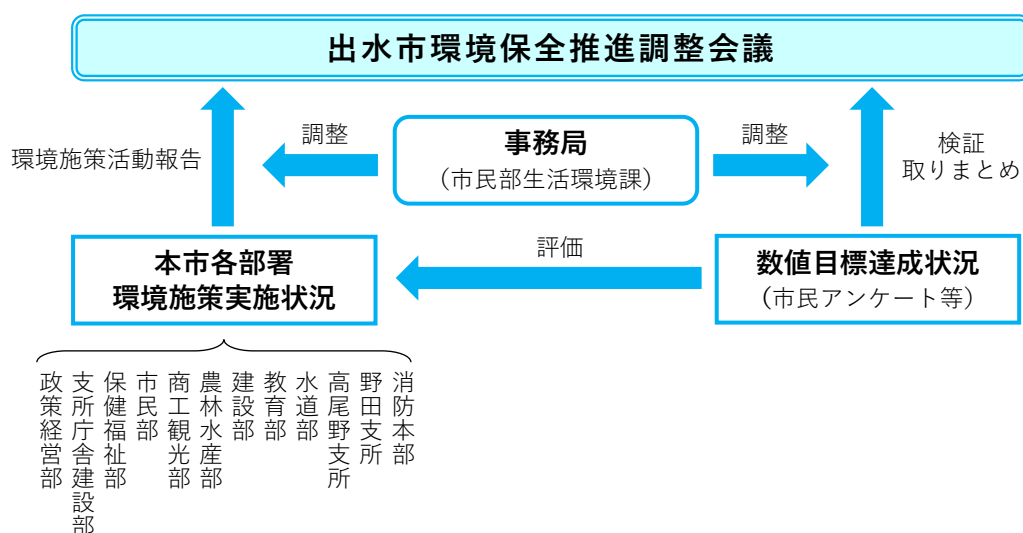


図 6-2 本市の進行管理体制

## 3 市民や事業者の参画

環境保全に関する施策や事業を積極的に進めていくためには、市民や事業者の協力や自主的な活動が重要です。このためには、市民や事業者に必要な情報の積極的な提供や支援を行うとともに、パブリックコメント制度や意見箱等を活用し、施策や事業の計画段階において、市民や事業者の意見を取り入れながら、良好な環境づくりを目指します。

## 4 広域的な連携

近年の環境問題は一つの自治体だけで解決できないものも多くあることから、国、県、周辺自治体及び関係機関と連携を図り、積極的な意見や情報の交換に努めます。

※ びーでいーしーえー  
P D C A

Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の頭文字を取ったものを指す。これらの行動を繰り返すことにより、進行管理等を継続的に改善していくことが可能となる。

表 6-1 各基本目標における数値目標

項目	令和 2 年度 実績値	令和 13 年度 目標値	令和 2 年度実績値の算出方法
<b>基本目標 1：安心して暮らせるまち～気候変動対策の推進～</b>			
節電を心掛けている市民の割合	60%	80%	市民アンケート（該当する項目を選択） 質問：「節電に心掛けているか」
気候変動の適応策という言葉や 取組について知っている市民の 割合	－	55%	－
<b>基本目標 2：ごみの減量・資源化を進めるまち～循環型社会形成の推進～</b>			
市民一人当たりのごみの発生量	183kg/年	160kg/年	「市全体のごみの発生量 / 市の人口」で算出 市全体のごみの発生量：北薩広域行政事務組合 市の人口：出水市ホームページ等
リサイクルに協力している市民 の割合	78%	90%	アンケート（該当する項目を選択） 質問：「リサイクルに協力しているか」
<b>基本目標 3：多様な自然に彩られたまち～自然共生社会形成の推進～</b>			
野生の動物が多くいると感じる 市民の割合	53%	70%	アンケート（5 項目のうち 1 項目を選択） 質 問：「野生の動物がたくさんいる」 回答項目：「非常に思う」「思う」「あまり思わない」 「思わない」「どちらともいえない」 該 当：「非常に思う」「思う」と回答した市民の 割合
本市が主催している自然とのふれ あいに関するイベントへの参加 人数	3,850 人	10,000 人	参加人数の把握
<b>基本目標 4：住み続けられるまち～快適な生活環境の保全の推進～</b>			
典型七公害に関する苦情件数	57 件	50%削減	苦情件数の把握
節水に心掛けている市民の割合	51%	70%	アンケート（はい・いいえで回答） 質問：「節水に心掛けているか」
川や海等の水がきれいだと感じる 市民の割合	46%	60%	アンケート（5 項目のうち 1 項目を選択） 質 問：「川や海などの水はきれいだ」 回答項目：「非常に思う」「思う」「あまり思わない」 「思わない」「どちらともいえない」 該 当：「非常に思う」または「思う」と回答した 市民の割合
<b>基本目標 5：みんなが主役のまち～環境保全活動と情報共有の推進～</b>			
環境保全活動 <sup>注 1</sup> への参加を希望 する市民の割合	60%	70%	アンケート（5 項目のうち 1 項目を選択） 質 問：「今後、環境保全活動に参加したいと思うか」 回答項目：「是非とも参加したい」「機会があれば 参加したい」「あまり参加したくない」 「参加したくない」「どちらともいえない」 該 当：「是非とも参加したい」「機会があれば 参加したい」と回答した市民の割合
ふるさと出水クリーン作戦の参 加人数	2,736 人 <sup>注 2</sup>	5,000 人	参加人数の把握
従業員の環境教育を実施している 企業の割合	20%	50%	アンケート（はい・いいえで回答） 質問：「従業員の環境教育を実施しているか」

注 1 ここで言う環境保全活動は、協働による森林管理、清掃、野生動植物保護、水質改善、環境教育等の環境負荷の低減のための取組全般を指します。

注 2 令和 2 年度のふるさと出水クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止としたため、令和元年度の実績値としました。